

平成 25 年度における連携計画の取り組み状況について

1. 「栗生線乗ろう DAY！プログラム」について
2. 「栗生線サポーターズくらぶ」について
3. 「栗生線通勤カムバック補助金」について
4. 「神戸電鉄栗生線利用促進活動補助金」について
5. モビリティ・マネジメントの状況について
 - ・ 沿線住民に対するモビリティ・マネジメント
 - ・ 学校に対するモビリティ・マネジメント
 - ・ 企業に対するモビリティ・マネジメント
6. 企画乗車券、割引制度等の状況について
7. 駅前パーク＆ライド時間貸し駐車場について
8. 今後の取り組み予定について

1. 「栗生線乗ろうDAY! プログラム」について

栗生線が存続するためには、沿線の方にご利用を増やして頂くことが重要ですが、道路網が発達し、郊外型店舗も多く、車に大きく依存した都市構造・ライフスタイルとなっている沿線の方にとっては、そもそも鉄道を利用する機会が少なく、栗生線問題について、当事者意識が薄く、関心を持って頂けていないのが実情です。

そこで、協議会では、栗生線の利用促進や利用啓発のためのイベントを地域の皆さまと一緒に企画・開催していくことで、運営に携わる方、イベントに参加される方、それぞれに、イベントを通じて栗生線問題への関心を持って頂き、ご利用を増やしていただけるよう、「栗生線乗ろうDAY! プログラム」を実施しております。

◆ おの恋&みっきいバル

小野陣屋まつりと山田錦まつりの開催に合わせて、小野市・三木市では初めてとなる“まちなかバル”を開催（2月28日～3月2日、3月7～9日）しました。両市ともに観光協会や商工会議所（商工会）等を通じて出店を呼び掛け、最終的には43の店舗が参加、バルチケットの販売枚数は353枚となりました。初めての試みでもあり、いろいろと至らない点もありましたが、反省点なども踏まえ、今後も、バルに限らずグルメラリー等のイベントが、地域活性化に向けた地域主体のイベントとして定着・発展していけるよう、協議会としても尽力してまいります。



○バル開催期間中、小野陣屋まつり（3月1・2日）や山田錦まつり（3月8・9日）会場において、しんちゃん&てつくんとともに、協議会の取り組みをPRしました。



○今回も、さまざまな方から応援のメッセージをいただきました。



2. 「栗生線サポーターズくらぶ」について

栗生線サポーターズくらぶ（以下「くらぶ」という）は、栗生線の存続にご賛同いただける皆さまにサポーターとなって頂き、栗生線の利用促進や地域活性化につながる活動を主体的に企画・実行・支援して頂くことで、栗生線の維持・存続につなげていくことを目的として設立されました。第1期の会員申込者数（～平成25年8月）は3,010名で、現在第2期会員の募集（初年度会員の更新手続きを含む）を行っておりますが、残念ながら第1期の会員数を下回る水準で推移しております。

1) 第2期会員・加盟店の状況

会員：2,581人、加盟店：36店舗（3月14日現在） ※別表参照

2) 第3回栗生線サポーターズくらぶの集い

第3回となる“栗生線サポーターズくらぶの集い”を開催（3月8日、於：コミュニティセンターおの分室「よって吉蔵」）しました。当日は、和歌山電鐵の再生事例を引き合いに、協議会から「栗生線の再生には、地域住民の熱意と行動が必要であり、サポーターの皆さまには、その中心的な役割を担って頂きたい。」と会員の主体的な行動を呼びかけたほか、既に主体的な取り組みを行っている会員からは、ホームページやSNSを通じた情報発信や利用啓発・利用促進イベントへの参画など、具体的な取り組み事例を紹介して頂きました。今後、くらぶの集いや協議会ホームページ上で、これらの情報が共有され、会員それぞれが自らにできることを考え、主体的な行動が喚起されていくよう、協議会としても尽力してまいります。



3) 栗生線ブログ駅長の募集

会員の主体的な行動の1つとして、協議会ホームページにおいて栗生線をはじめとする神戸電鉄線の魅力を発信して頂ける「栗生線ブログ駅長」を募集しておりましたが、最終的に7名の方から応募があり、現在、選考および駅長就任に向けた手続きを進めております（4月下旬よりご活躍頂く予定です）。

3.「粟生線通勤カムバック補助金」について（前回報告済み）

神戸電鉄以外の通勤手段から粟生線を利用した通勤手段に転換される方を支援し、定期利用者の拡大を図るため、粟生線区間の6か月通勤定期運賃の半額相当を補助する通勤定期利用転換促進支援制度「粟生線通勤 Come Back（カムバック）補助金」を導入いたしました。

ポスターの主な内容:

- 期間: 平成26年4月1日まで期間延長
- 対象: 粟生線通勤
- 補助金: 6ヶ月通勤定期代を最大で半額キャッシュバック!
- 対象駅: 粟生、三木、三宮、押部谷、湊川
- 補助額: 粟生⇄三木 59,940円、三木⇄三宮 51,000円、三木⇄押部谷 41,610円
- 条件: 神戸電鉄の通勤定期の購入実績が6ヶ月間ないことを証明できれば、月極め駐車場の契約書やバス定期券でもOK!!

【補助の要件】

- ・定期券の利用開始日が平成25年4月1日から平成26年4月1日の間にあること
- ・勤務先の証明又はこれに準ずる書類（月極駐車場の契約書やバス定期券など）により、過去6か月以上、神戸電鉄を利用して通勤していないことが証明できること

【募集数】 300名

【申込者数】 35名（3月25日現在）

- ・申込者住所
神戸市11名、三木市17名、小野市5名、加西市他2名
- ・平均補助額 約43,500円

上記申込者のうち、補助期間を満了した21名に対して補助金の交付を行いました。その際にご提出いただきましたアンケートによると、今後も粟生線を利用した通勤を継続したいという意向をお持ちの方は11名（約50%）にとどまっております。

以上の結果、通勤手段の選択においては、「価格」よりも「利便性」を重視される方が多く、本補助金の効果を高めるためには「利便性を高める施策」を併せて実施することが必要と考えられることから、協議会では、本補助金制度を次年度も継続した上で、駅へのアクセシビリティ向上を図る手段として、住宅地から駅への無料シャトルバスの実験運行について、その場所や規模、実施時期等詳細な検討を進めていく予定にしております。

4. 「神戸電鉄栗生線利用促進活動補助金」について（前回報告済み）

協議会では、栗生線の利用啓発や利用促進など、地域の皆さまによる主体的な活動を支援する目的で、10万円（利用促進効果が高いと協議会が判断した場合は20万円）を上限とする補助制度を昨年7月にスタートさせましたが、現時点における活用状況は次のとおりです。地域の主体的な取り組みの輪が広がるよう、引き続きPRに努めてまいります。

【申込件数】 3件（市民団体2件、学校関係1件）

【活用用途】 主としてチラシ、ポスター等の制作費用

《補助金を活用して制作された広告物》



5. モビリティ・マネジメントの状況について（前回報告済み）

公共交通を利用することの重要性を意識付けし、交通行動の変容を促す働きかけを行うとともに、沿線の学校や企業、自治体職員等に対して、栗生線を率先して利用して頂けるよう呼びかけを行っています。

(1) 住民に対するモビリティ・マネジメント

沿線自治会や地域団体に対し、栗生線の現状を伝えるとともに、くらぶ入会案内や栗生線を活用した地域活動の推進を働きかけています。

1) 地域活動・イベント等に対する後援・協力

協議会では、栗生線の活性化につながる地域活動・イベント等とのタイアップを積極的に行っています。

(2) 学校に対するモビリティ・マネジメント

沿線の小学校や幼稚園児等に対し、利用者の減少に苦しむ栗生線の現状を紙芝居なども交えて伝えるとともに、自然環境学習などの校外学習における栗生線の積極的なご利用を働きかけています。

1) 農業体験学習



2) 三木山森林公園校外学習体験



3) 七夕駅装飾、クリスマス装飾列車



(3) 企業に対するモビリティ・マネジメント

平成 23 年度のアンケート結果に基づき、利用者増の取組みに積極的な協力が期待できる企業に対し、個別訪問による利用啓発を行っています（訪問実績：68社）。

(4) 自治体職員等による率先行動

沿線の皆さまに公共交通を利用することの重要性を理解して頂くためには、まず自治体職員等が率先して行動に移していくことが重要です。沿線自治体における取り組み状況は次のとおりです。

① ノーマイカーデーの設定・実施

三木市では、毎月第4水曜日をノーマイカーデーとし、職員の公共交通利用を呼びかけるとともに、各職場に対して、その実施状況の報告を求めています。

② 出張用回数券の購入

三木市では、職員が栗生線を利用しやすい環境を整えるため、回数券を一括して購入し、利用を呼びかけています。

6. 企画乗車券、割引制度の状況について（前回報告済み）

協議会の取り組みとして神戸電鉄が発売している企画乗車券、および沿線自治体が施策目的で発行している割引乗車券の発売・発行状況は以下のとおりです。

名称	料金等	発売枚数
神鉄高速シニアパス	・ 7,000 円（満 70 歳以上限定） ・ 4 か月の有効期間内であれば、神鉄線と神戸高速線が全線 20 日間乗り放題	3,859
栗生線家族おでかけきっぷ	・ 2,300 円（大人 2 名＋小児 1 名の往復乗車券） ・ 神鉄湊川～栗生駅⇄神戸高速各駅で有効	1,791
神鉄おもてなしきっぷ	・ 1,000 円（小児 800 円） ・ 神鉄全線 1 日乗り放題＋おもてなし券（提携店舗にて 500 円の金券として利用可）ほか ・ 有効期間は 7 月 20 日～9 月 30 日	5,067
栗生線全線開通 60 周年記念入場券	・ 1,190 円（硬券 7 枚） ・ 限定 2,000 セット	1,122
三木市神戸電鉄福祉パス	・ 500 円（満 70 歳以上限定） ・ 1 年の有効期間内であれば、神鉄全線が 8 日間乗り放題 ・ 三木市が神鉄から協定価格で買い上げた上で、市の窓口にて販売 ・ 高齢者外出支援目的（福祉施策）で実施	1,325

※ 発売枚数は、平成 25 年 4 月 1 日～12 月 31 日の累計

7. 駅前パーク＆ライド時間貸し駐車場について（前回報告済み）

駅前用地を活用して、電車利用の潜在的な需要の掘り起こしと、駅勢圏の拡大による栗生線利用者の増加を図るために、平成 22～23 年度に整備した時間貸しパーク＆ライド駐車場（全 56 台）の利用状況は以下のとおりです。



押部谷（平成 24 年 3 月～）

6～7 台/日の利用ですが、パーク＆ライド利用は低調で、一時駐車の利用が多い傾向にあります。



広野ゴルフ場前（平成 23 年 11 月～）

6～7 台/日の利用ですが、比較的パーク＆ライド利用が高い状況が続いています。



三木（平成 23 年 11 月～）

16 台/日以上と、堅調な利用状況となっています。



小野第 1（平成 22 年 10 月～）

10 台/日程度と、堅調な利用状況となっています。



小野第 2（平成 23 年 4 月～）

平均 5～6 台/日の堅調な利用状況ですが、パーク＆ライド利用は少なく一時駐車の利用が顕著な傾向にあります。

※ 恵比須（神戸電鉄が独自に整備）においては、既存の時間貸しパーク＆ライド施設に割引券発行機を設置し、平成 24 年 4 月より栗生線利用者への駐車料金割引サービスを行っています。

8. 今後の取り組み予定について

(1) ホームページのリニューアルについて

4月1日より新しいホームページアドレスでの運用を開始するとともに、動作確認等の終了したコンテンツから順次リニューアル画面へと切り替えしてまいります。なお、全ての画面を切り替え、栗生線ブログ駅長にブログの執筆を開始して頂く時期は、4月下旬を予定しております。

※ 詳細は、資料4をご参照ください。

(2) 栗生線活性化グランプリ“栗生線・未来へと続くレールコンテスト”の開催について (前回報告済み)

平成26年度におけるモビリティマネジメントの一環として、沿線の高校生や大学生を対象とした表記のコンテストを開催いたします。

※ 詳細は、ニュースリリース資料をご参照ください。

以 上